

▼(株)能作/常設プロジェクトマッピング  
中央の富山県地図上に映像が映し出される



「映像制作とデジタル絡みのアプリケーション開発を手掛けておられます。代表取締役の中村秀樹さんにお話を伺いました。」

がんばる  
皆さんを応援!

## 株式会社イーシステム

### 映像の制作

株式会社イーシステムは、映像制作とデジタル絡みのアプリケーション開発を手掛けておられます。代表取締役の中村秀樹さんにお話を伺いました。

中村社長は富山市出身で、富山と東京で10年以上プログラマー・システムエンジニアを務めた後、平成16年に株式会社イーシステムを創業されました。これまで映像制作においてはテレビCM、展示会用プロモーションビデオ、プロジェクトマッピング、マスコットの3D化等を手掛けておられます。

「テレビCMは過去1300本以上の納品実績があります。昨年高岡の(株)能作様の新社屋の常設プロジェクトマッピング制作を制作させていただきました。映像業界は実写映像が主流ですが、当社はCG映像が得意です。実写とCGはそれぞれ得手不得手

があり、ケースに応じて組み合わせを判断するのがベストです。CGは鳥目線で全体像を俯瞰表示したり、分かりやすく半透明表示したり、ミクロの微細な現象の見える化や、まだ実在しない試作品や過去の歴史的建造物の見える化、火山内部や宇宙空間といった撮影できないモノを視覚化できるといった利点があります。CG映像を制作する会社は東京に集中しており、北信越にはほぼありません。当社は営業が得意な面もあって余り知られていないので、『富山にこんな会社があったんだ！』とよく驚かれます」

### ビジュアルアプリケーションを開発

同社はビジュアル絡みのアプリケーション開発も行っております。「元々プログラマー・システムエンジニアをいたしましたから、それに得意のCG技術が組み合わさった結果です。この分野においても北信越では他に同業者はありません。昨年、『富山県美術館屋上スマホ立



▲富山駅の構造を分かりやすくスライス表示

山展望アプリ」を開発させていただきました。県美術館の屋上でスマートフォンの気になる山の方向に向けてると、山名や標高情報等が表示されます。現在、『デジビュー(デジタルビュー)』というソフトの開発に取り組んでいます。その導入第1号が、4月下旬にオープンする高岡市の雨晴道の駅で体験いただけます。道の駅入口から入ってすぐのところにある、40インチ大型タッチパネルで操作する観光情報アプリです。

観光地の多くは訪れた時の天候が観光客の満足度に大きく影響してしまいます。特に日本海側は天候リスクが高いですから、積極的にIoTを活用する事でそのリスクを抑え、観光客の満足度を年間通して平準化させられるようなユーザー体験型コンテンツを目指して開発しました。観光客が魅力を感じてファン化したり、リピーター化につながれば嬉しい限りです」

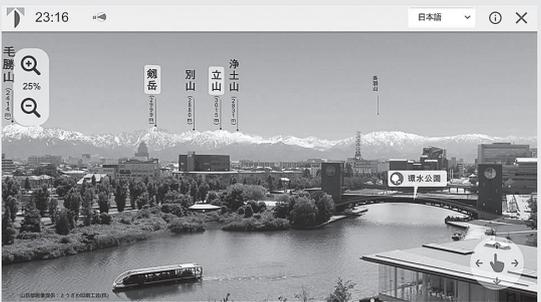
また、オリジナルアプリ開発のほか、VR(バーチャルリアリティ)やAR(拡張現実)、MR(ミックスリアリティ)の開発にも取り組んでおられます。「昨年はVR元年と言われましたが、当社としては特にMRに注目しています。開発者向けMRデバイスを使ったコンテンツの開発に取り組んでいます。将来、MRデバイスはメガネやコンパクトレンズぐらいまで小型になり、私たちの生活になくはならないものになる可能性があります。例えば、

離れた拠点と通信で接続して、まだ設計中の工業製品をバーチャル空間で視覚化しながら打ち合わせ・合意形成促進等の使われ方が考えられています」

MRに取り組むにあたり、同社は国のものづくり補助金の採択を受けておられます。「富山はものづくり県として認知されていますが、当社が新しい技術に挑戦し、実績を上げていくことにより、『ソフトウェアでも強い県と言われるようになればいいな』と思っています」

頑張っておられる中村社長を、当所はこれからも応援します！

富山市山室391-1  
☎076-481-6625  
<http://www.esyst.co.jp/>



▲富山県美術館の屋上で利用できる「立山展望アプリ」